

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2023年度以降）

開講科目名 / Course	食と農のこれからを考える / Study of Food and Agriculture		
時間割コード / Course Code	R1001018_G1		
開講所属 / Course Offered by	共通 /		
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q		
曜限 / Day, Period	火 / Tue 5		
開講区分 / Semester offered	後期 / the latter term		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	岸上 光克 / KISHIGAMI Mitsuyoshi		
授業形態 / Lecture Form	講義		
教室 / Classroom	E1-101（東1号館） / E1-101		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	共通	課題解決力と自己学修能力	5
		地域への関心と国際的視点	5
担当教員名 / Instructor （担当教員所属名 / Affiliation）	岸上 光克 / KISHIGAMI Mitsuyoshi（大学共通）、大浦 由美 / OURA Yumi（観光学部（教員））、 阪井 加寿子（大学共通）		
授業の概要・ねらい / Course Aims	日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では、全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。 本講義では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流、そして地域づくりについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討する。 *学内外の講師がリレー方式で講義のため、外部講師の都合により入れ替ることや講師が変更になることがある		
到達目標 / Course Objectives	食と農の関係性の現状と課題について理解する。		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	各回の講義に提出する課題（リアクションペーパー）、まとめの課題レポートなどをもとに、主任講師が総合評価を行う。		
教科書 / Textbook	特に指定しません		
参考書・参考文献 / Reference Book	適宜紹介します		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	毎回の登壇者の講義受講を必須とします。 食料・農業・農村に関心のある方は受講を勧める		
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	特になし		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	特になし		
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の自主学修が必要です。		
その他連絡事項 / Other messages	この科目は、農業をビジネスにしている方々がゲストスピーカーとして実務経験を生かし、農業・農村について教授する授業です。 対面で実施する場合、定員を設ける可能性があります。 *詳細は第1回講義（ガイダンス）の際にアナウンスいたします。 *具体的な登壇者は決まり次第、お知らせいたします。		
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	特になし		
オフィスアワー / Office Hours	火曜 昼休み（12：30～13：00） 東3号館（教育学部棟）1階 南111号室（岸上研究室） 必要に応じて、メール等での質問を受け付けます。 *詳細は第1回講義（ガイダンス）の際にアナウンスいたします。		
科目ナンバリング / Course Numbering	C41011J0010131h1		

授業計画詳細 / Course schedule

回（日時） / Time (date and time)	主題と位置付け（担当） / Subjects and instructor's position	学習方法と内容 / Methods and contents	備考 / Notes
（10/3） / 5 限		ガイダンス、現代の農業・農村と農協： 岸上光克（和歌山大学）	
（10/10） / 5 限		JAわかやまにおける農業振興と地域振興： JAわかやま有志（JAわかやま）（仮）	
（10/17） / 5 限		日本型ガストロノミーと食文化の創造（仮）	
（10/24） / 5 限		地域における食育の推進（仮）	
（10/31） / 5 限		フードシステムと6次産業化（仮）	
（11/7） / 5 限		地域資源の活用とコミュニティビジネス（仮）	
（11/14） / 5 限		農業とICT活用（仮）	
（11/28） / 5 限		森づくりと森林サービス産業（仮）	
（12/12） / 5 限		農村集落の持続性（仮）	
（12/19） / 5 限		農業農村とジェンダー（仮）	
（12/26） / 5 限		農福連携の推進（仮）	
（1/9） / 5 限		都市農業の現代的価値（仮）	
（1/16） / 5 限		都市農村交流の現代的意義（仮）	
（1/23） / 5 限		協同組合の現代的意義（仮）	
（1/30） / 5 限		農業者たちと語る「食と農のこれから」 岸上光克（和歌山大学）	